

県外派遣報告書

審判員名	堀口 拳	所属	U18西部
大会名	第54回関東中学校バスケットボール大会		
期間	2024年8月7日(水)～9日(金)		
会場	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月5日(月)	審判会議、研修会	ZOOM会議 自宅他	
8月7日(水)	男女1回戦	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
8月8日(木)	男女2回戦、準々決勝	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
8月9日(金)	男女準決勝、決勝	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
会議 講義 内容			
<p>(1) 挨拶 ○一般社団法人千葉県バスケットボール協会 専務理事 大野 健男 様 ○一般社団法人千葉県バスケットボール協会 審判部長 中嶽 希美子 様 ○関東バスケットボール協会 審判委員長 平原 勇次 様</p> <p>(2) 指名審判員紹介・レクチャー ○一般社団法人東京都バスケットボール協会 六角 亜沙美 S級審判員 様 ▶リードの視野の取り方、ローテーションのタイミング ・ボールが行ったからローテするのではなく、「何を見たいのか」を明確にしてローテ →体や顔の向きで示すことでほかのクルーに見ているものを伝える ・ミラーザボールはディフェンスラインに ・クローズダウンやピンチペイントはあくまでもローテの準備であり判定の場所ではない ▶タイムマネジメント ・ショットクロックやゲームクロックを口に出して記憶する ・ショットクロックが20秒のときのゲームクロックを覚えておく</p> <p>○一般財団法人群馬県バスケットボール協会 岸 由貴 S級審判員 様 ▶選手やコーチとのコミュニケーション ・簡潔に短く ・「手を使うな」「～やめて」ではなく「手の使い方」「見てるよ」などの言い方 ・メラビアンの法則 →言語情報7% (言葉の内容や選択)、聴覚情報38% (話すスピードや抑揚)、視覚情報55% (表情や態度) ・「ありがとう」を伝える ▶POCを正しく判定するために ・正しい位置取り ・トレイルのPOCミスは多い→正しい位置にいない?</p> <p>○一般社団法人栃木県バスケットボール協会 渡邊 諭 S級審判員 様 ▶信頼されるレフェリーとは ・正しい判定と姿勢 →ヴァイオレーションは確認、ファールは考え方 ・足を運んで自分の目で確認する→根拠と裏付けを。 ・1つ1つの判定を丁寧にすることが結果メンタルを保つことにつながる ・自分のプライマリーは自分で! →誰かがアングルをもっている、ではなく、自分で足を運ぶ ・ヘルプディフェンスを気にしすぎて広がりすぎな傾向がある →見るべきものは何なのかを明確に ▶リード ①ボールはどこか ②誰がヘルプになり得るか ③距離と時間を考えローテ開始 ※ボールと、次に関わるDFが誰かの確認を</p> <p>(3) 審判割当確認</p> <p>(4) 連絡事項 ・試合運営についての確認事項(チーム伝達事項) ・各係からの連絡(会場・輸送・宿泊・総務・その他)</p>			

実技				
担当試合	期 日	2024年8月7日(水)	男子 女子	男子1回戦
	対戦カード	太田(千葉)	VS 十日市場(神奈川)	CC U1 U2
	相手審判	CC:田中健二郎氏(東京) U1:矢崎勇人氏(山梨) U2:堀口拳		
ミーティング内容		主任 廣瀬俊昭氏(神奈川)		
<p>OPGC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム情報の共有。 ・Cサイドエントリー、トラップの際のクルーワーク確認。 ・リードローテーションのタイミングについて。 ・ヘルプDFのプライマリー確認。 <p>○試合後ミーティング</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライマリーの意識をもっと高めたい。 ・キーとなる選手のインテンシティーやフラストレーションをもっと感じる。 ・ビッグインパクトに対して笛がタイムリーで入っていないため不安がある。 ・リードのローテーションをキープレーヤーに合わせてもっと積極的に。 ・大会初日であることも踏まえ、TOの様子、表示のされ方、コーチやチームの雰囲気などを特に1Qで確認し、共有すべき。 <p><個人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・リードのローテーションをもっとスムーズに(キープレーヤーの位置の把握)。 ・キープレーヤーのフラストレーションを感じとり、鳴らせるチャンスは簡単にコール。 				
担当試合	期 日	2024年8月8日(木)	男子 女子	女子2回戦
	対戦カード	敷島(山梨)	VS 志茂田(東京)	CC U1 U2
	相手審判	CC:穂川苑子氏(群馬) U1:菊田沙織氏(茨城) U2:堀口拳		
ミーティング内容		主任 久保あしみ氏(千葉)		
<p>OPGC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム情報の共有。 ・リードのローテーションのタイミングは「何を見に行くか」を明確にしてから。 ・マッチアップだけでなく、次に誰が絡むかを視野に入れる(2on2まで)。 ・影響が出るまでの分析をしっかりとってコールするか判断する。 <p>○試合後ミーティング</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに試合が進行してよかった。 ・鳴らすべきところには必ず誰かしの笛が入っており、崩れることはなかった。 ・プライマリーが鳴らすべきところをセカンダリーから入ってくるケースがいくつかあったが、プライマリーはどう見ていたか、プライマリーがコールしたい。 ・ファールバランスが偏りがちであった→どちらかにつけたファールやバイオレーションはもう一方にも同じことがあったときに逃さないようにしたい。 <p><個人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ起きた現象を判定するのではなく、ゲームの流れや点差、キープレーヤー、チームの意図などをもっと把握してコールすべきだと感じた。 ・TOは地元中学生が担当しており、ミスも散見されたが、必要な場面で訂正ができたのはよかった。 				

	期 日	2024年8月8日(木)	男子 女子	男子準々決勝
担当試合	対戦カード	高根(山梨) VS 豊田(神奈川)	CC	U1 U2
	相手審判	CC: 平原勇次氏(本部) U1: 安藤俊明氏(千葉) U2: 堀口拳		
ミーティング内容		主任 若林哲氏(埼玉)		
<p>OPGC</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム情報の共有。 ・ヘルプDFのプライマリーについて確認(ペイントの外、センターサイドについてはヘルプであってもセンターのプライマリー)。 ・ビッグマンの守り方を注視する一肘へのヒットやダブルチームの有無など確認。 ・お互いの異質なプレーやイリーガルな手の使い方については、最初から指導していくつもりで。 ・スムーズな試合進行を。 <p>○試合後ミーティング</p> <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに試合が進行してよかった。 ・ゲームの始めに、DFの体の当て方、手の使い方に対して2~3つ笛が入ったこと、声を積極的にかけて理解させたことで、その後異質なものは少なくなった。 ・鳴らそうと思えば鳴らせる現象も、被害者が出るまではコールせず、長く見ることができており、選手のより良いプレーを引き出せていた。 ・判定が間違っただけのものもあったが、決断したことが大切。OF、DFの両方が絡んでいる場合、どちらにつけるのか、お互いにつけるのか、選択肢をもっておく。 <p><個人></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のエリアのプレーを、早くとらえて長く見ることが大切だと感じた →リバウンド争いで白が先に絡んだのに対し、対抗した青にファールをつけてしまう、など。 ・センターサイドのドライブやフィニッシュに対して、アングルの取り方を工夫すべき →フラットのままで見えないものもある。 ・リードのローテーションをもっとスムーズに →始めからクローズダウンを選択していい場面が多々あった。 				
全体の感想				
<p>この度は関東中学校バスケットボール大会に派遣いただきありがとうございました。2日間で3試合を担当させていただき、全国大会出場をかけた中学生やコーチ、サポートする保護者の方々の熱量を強く感じる大会でした。そういった大会のいったんを担えたことを非常に嬉しく思います。</p> <p>大会を通して、中学生の個人技術の高さに驚きました。たくさんの時間をかけて技術の研鑽を重ねた結果、この場でプレーしているのだろうと実感しました。沖縄ワールドカップやパリオリンピックでの日本代表が大きな活躍を見せてくれましたが、将来この中の選手がそういった舞台に立って活躍してくれるのではないかと期待も抱かせてくれました。</p> <p>審判としては、自分の長所も短所も出た大会でした。地元中学生がTOを担当していることもあり、ショットクロックや表示などに時折ミスも見られました。日ごろTO部として活動していることがそういった場面のTO管理や修正につながったかと思えます。課題については、試合の状況を客観的に把握して判定につなげることだと感じました。誰がキーマンであり、フラストレーションを抱えているのは誰なのか、どちらにどのようなファールがついていて、コーチや選手は何を気にしているのか、などといった情報を、もっと把握、共有して判定につなげなければならぬと強く感じました。今後のそういったことをより意識して審判活動をしていきたいと思えます。また、大会中多くの審判員の皆様とお話をする中で、たくさんのアドバイスをいただくことができました。これまでお話をしたことがなかった方とも交流させていただくことができ、そういった意味でも非常に有意義な3日間となりました。</p> <p>最後になりましたが、眞榮喜審判部長をはじめ、埼玉県審判部の皆様、本大会に派遣いただきありがとうございました。そして、心温まる受け入れをしてくださいました中嶽様をはじめとする千葉県バスケットボール協会審判部の皆様、関東ブロック審判長平原様、ご講義いただきました指名審判員渡邊様、岸様、六角様、試合の担当を一緒にさせていただいたクルーの皆様、大会期間中お世話になりました審判員の皆様、TO、すべての役員の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。</p>				

県外派遣報告書

審判員名(報告者)	村上 翔	所 属	U12 カテゴリー
大会名	第54回関東中学校バスケットボール大会		
期 間	2024年 8月 7日 ~ 9日		
会 場	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)		
ス ケ ジ ュ ー ル			
期 日	内 容	場 所	
8月 5日	審判会議、研修会	ZOOM 会議 参加者自宅他	
8月 7日	大会1日目 1回戦	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
8月 8日	大会2日目 2回戦、準々決勝	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
8月 9日	大会3日目 準決勝、決勝	船橋市総合体育館(船橋アリーナ)	
審判会議、研修会 講義内容			
<p>▶レクチャー</p> <p>○六角 亜沙美 氏</p> <p>・リードのローテーションについて</p> <p>→何を見たいのかを体と顔の向きで示す。</p> <p>→リードの位置をディフェンスのラインに合わせる。</p> <p>→U15 カテゴリーでは、1対1が多いからこそ、クローズダウンポジションに長く止まらずにルーズして捉えることも必要である。</p> <p>・タイムマネジメントについて</p> <p>→タイマーの時間を声に出して確認する。</p> <p>→ショットクロックが20秒の時のタイマーを把握することで、マジックタイムが把握しやすい。</p> <p>→フリースローの時は、必ずタイマーを把握しておく。</p> <p>○岸 由貴 氏</p> <p>・コミュニケーションについて</p> <p>→短く簡潔に、競技規則やガイドラインに則した言葉を使ってコミュニケーションを取る。</p> <p>→選手の表情をよく見て、話したがっている選手を把握する。</p> <p>→直接話すだけでなく、キャプテンや試合全体を見ている選手を介して伝えることもできる。</p> <p>→否定的な表現を避ける。</p> <p>・POCを正しく把握するために</p> <p>→POCを正しく把握することで、説得力のある判定に繋げることができる。</p> <p>→集中しすぎたことによる気持ちの高ぶりから、反射的に判定することを注意する。</p> <p>・強みや課題を明確にするために</p> <p>→他者からの客観的な気づきを大切にすることが重要である。</p> <p>→自分のこだわりを大切にしながらも、こだわりは傲慢さにもなるので注意する。</p> <p>→良かった点を大切にす。</p>			

○渡邊 諭 氏

・メンタルの保ち方、信頼される審判になるために

→正しい判定と真摯で謙虚な姿勢が大切である。

→ルールを覚えるだけでなく、ルールを理解し、バスケットボールを理解することが必要である。

→正しい判定を増やすということは、曖昧なものをなくすということであり、足を運んで見て、判定の根拠や裏付けを持つことで重要となる。その結果、ブレない判定となり、メンタルを保つことへも繋がる。

・ヘルプディフェンスについて

→ヘルプディフェンスを気にしすぎて、広がりすぎている人がいる。今見るべき優先順位を考え、ボールマンと次の選手を把握することで、何が起きようとしているかを把握することで良い位置に動くことができる。

担当試合①

期 日	8月8日(木) 2回戦
対戦カード	銚子市立第一中学校(千葉) vs 横浜市立豊田中学校(神奈川)
ク ル ー	CC:阿久沢 尚夫 氏(群馬) U2:木村 勇 氏(茨城)
ミーティング内容	審判主任:安藤 俊明 氏(千葉)

▶ミーティング

PGCの中で、ローテーション等で積極的にアイコンタクトを取りながら、進めていこうと共有した。試合中、判定した後やリードがローテーションを開始する際にクルー間でアイコンタクトを取ることで、スムーズに進めることに繋がった。

試合展開の中で、キープレイヤーを共有しながら進めた。しかし、意識することでファウルコールも多くなってしまい、個人的には細くなりすぎないように見極めが課題となった。また、試合終盤の接戦の場面では、決断が必要な場面でより力強く判定に参加したいと感じた。

担当試合②

期 日	8月8日(木) 準々決勝
対戦カード	新島学園中学校(群馬) vs 市原市立ちはら台南中学校(千葉)
ク ル ー	CC:加藤 暁生 氏(東京) U2:倉持 雄一 氏(栃木)
ミーティング内容	審判主任:山崎 敬次郎 氏(千葉)

▶ミーティング

PGCの中で、試合中に感じたことを常に共有しながら進めていこうと話があった。

試合の序盤でローテーションについて、クルー間でタイミングを確認しながら進めることで、共通認識を持つことができ、判定につながった。また、他にも気になる事象や接触についても丁寧に共有することで、共通認識を持って試合を進めることができた。

チームにとって2試合目ということもあり、選手に疲労が溜まっている中で、丁寧に選手やベンチとコミュニケーションをとることで結果的に円滑に試合を進めることに繋がった。

全体の感想

はじめに、今大会の開催にご尽力いただきました千葉県協会の皆様、派遣していただきました埼玉県協会の皆様に感謝申し上げます。

大会へ参加させていただき、クルーで共通認識を持つことの大切さ、判定を見極めることが課題であることを感じました。試合中に気になることをクルーと丁寧に共有したり、アイコンタクトをとったりすることで円滑に試合を進めることにつながることを改めて感じました。また、ゲームフローを感じて、判定を見極めて表現することが大切だと感じました。

今回の経験を今後の活動に生かしていくと共に、還元できるよう精進して参ります。

県外派遣報告書

審判員名	小原 宏太	所属	U18
大会名	第54回関東中学校バスケットボール大会		
期間	2024年8月7日(水)～9日(金)		
会場	船橋市総合体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月5日(月)	審判会議、研修会	ZOOM会議、自宅	
8月7日(水)	男女1回戦	船橋市総合体育館	
8月8日(木)	男女2回戦、準々決勝	船橋市総合体育館	
8月9日(金)	男女準決勝、決勝	船橋市総合体育館	
会議 講義 内容			
<p>(1) 挨拶</p> <p>○一般社団法人千葉県バスケットボール協会 専務理事 大野 健男 様 全国につながる大会です。レフリーはチーム・選手・観客に気持ちよく進めてもらうためにいます。レフリーの都合ではダメ。事実を一つ一つ確認をして拾っていき、ルールにしたがって判定を下してください。1日で上手くなることはありませんが、トライ&エラーで技術の向上に努め、目標のステージに1日でも早く立てよう頑張ってください。最後の責任は私が取りますので、思う存分力を発揮してください。</p> <p>○一般社団法人千葉県バスケットボール協会 審判部長 中嶽 希美子 様 久しぶりの関東大会です。さらに初めての審判員も多数います。至らぬ点があるかと思いますがお力添えをお願い致します。</p> <p>○関東バスケットボール協会 審判委員長 平原 勇次 様 多くの中学生は、判定に対してリアクションをほとんどしないが、是非耳を傾けて、寄り添った審判をしてください。</p> <p>(2) 指名審判員紹介・レクチャー</p> <p>○六角 亜沙美 様 ・審判のレベルアップに向けて リードの視野の取り方、ローテーションのタイミング → なにを見たいのかが大切 タイムマネジメントについて・・・声に出す、SCが20秒の時のゲームクロックを覚えておく、フリースロー時は必ず</p> <p>○岸 由貴 様 ・コミュニケーション ルールやガイドラインに即した言葉を使う 声をかけることで選手の集中力を高めたり、ファールを未然に防ぐことができる。 メラビアン の法則について ありがとうを伝える。正しい判定を重ねる。自分自身の強みや課題を明確にして、努力を重ねる。</p> <p>○渡邊 諭 様 ・メンタルの持ち方 信頼されるレフリーとは。正しい判定と姿勢について。</p>			

実技				
担当試合	期 日	8月7日	男子	1回戦
	対戦カード	銚子一(千葉) VS 大森第三(東京)		U1
	相手審判	CC:岡龍哉氏(栃木) U2:清水倫人氏(山梨)		
ミーティング内容		主任 阿久沢尚夫氏(群馬)		
<p>テンポセットがよくできていて、ファールが多い展開であったが、徐々にクリーンにしていくことができていた。点差が開く展開となったが、両チーム集中してゲームに取り組んでいた。第3Qで負けているチームがドライブした際に、コールできるものがいくつかあった。</p>				
担当試合	期 日	8月8日	男子	2回戦
	対戦カード	梅丘(東京) VS 小山(栃木)		U1
	相手審判	CC:廣瀬俊昭氏(神奈川) U2:湯浅将悟氏(千葉)		
ミーティング内容		主任 六角亜沙美氏		
<p>全体的に非常に良かった。Cでの立ち方など安定感のあるもので、コールも適切にできていた。コールしたオフボールスクリーンについて話題があがった。マジックタイムなどの把握が全体的に疎かになってしまった。</p>				
全体の感想				
<p>この度は関東中学校バスケットボール大会に派遣いただきありがとうございました。あまりU15カテゴリーでの県外派遣の経験がないため、今回初めてお会いする方々も多くいて、交流が広がるとともに、審判の技量の向上につながりました。ゲームについてはスキルも非常に高く、中学生のレベルの高さを感じました。普段担当しているU18カテゴリーとは異なり、ゲームの時間やマンツーマンしか実行できないことで余裕が持てる部分もあれば、育成年代ということでフィジカルについてやメンタル面ではより吟味しなくてはいけない難しさも感じました。</p> <p>最後になりましたが、眞榮喜審判部長をはじめ、埼玉県審判部の皆様、本大会に派遣いただきありがとうございました。そして、親切に対応してくださいました中嶽様をはじめとする千葉県バスケットボール協会審判部の皆様、関東ブロック審判平原様、ご講義いただきました指名審判員 渡邊様、岸様、六角様、大会期間中大変お世話になりました。全ての役員の皆様にも感謝申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。</p>				

県外派遣報告書

審判員名	山岸 大輔	所属	U18
大会名	令和6年度 第54回関東中学校バスケットボール大会		
期間	2024年8月7～9日		
会場	船橋アリーナ		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
8月5日	審判会議、レクチャー	オンライン	
8月7日	男女1回戦	船橋アリーナ	
8月8日	男女2回戦、準々決勝	船橋アリーナ	
8月9日	男女準決勝・決勝	船橋アリーナ	
会議 講義 内容			
<p>千葉県バスケットボール協会の大野さま、地元千葉県審判長の中嶽さん、関東協会審判長の平原さんからより最初にご挨拶をいただきました。</p> <p>その後、指名のお三方よりレクチャーをいただきました。</p> <p>六角さんからは、「リードのときの視野の取り方とローテーションのタイミングについて」、「タイムマネジメントについて」お話がありました。</p> <p>岸さんからは「選手やコーチとのコミュニケーションについて」、「POCを正しく判定するために(オープンアングルとポジションアジャストを意識する)」、「自分自身の強みや課題を明確にするために(他者の視点は大切に)」などとお話がありました。</p> <p>渡邊諭さんは「信頼されるレフリーとは(1つ1つのプレーに対してしっかり足を運び、自分の目で確かめる。プレーを見るための努力をし続ける。判定に根拠と裏付けを)」、「Help Defense vs Rotation (何のためのボールサイドツーカー。危ないところは2人で、は変わらない。ボールがCサイド、まずヘルプディフェンスを確認してからローテーションを。ドライブが来てからヘルプディフェンスを探すのではない)」、「どのポジションでも、ボールマン+次に関わってくるのは誰なのか(2対2)を把握する」などと解説がありました。</p> <p>大変勉強になりました。</p>			
実技			
担当試合	期 日	8月8日(木)	男子 2回戦
	対戦カード	由井(東京) VS ちはら台南(千葉)	CC
	相手審判	U1:岡 龍哉氏(栃木) U2:星河 聖氏(群馬)	
ミーティング内容		主任 加藤暁生氏(東京)	
<p>おおむねよく判定し、ゲームコントロールができていた。クォーターの最初でゲームクロックが動いていないことがあり、再開にも時間をかけてしまった。スピードアジャスターのときに、ゲームクロックスタートについても意識を高めていきたい。</p>			

	期 日	8月9日(金)	女子	準決勝
担当試合	対戦カード	敷島(山梨) VS 昭和学院(千葉)		U2
	相手審判	CC: 大坪綾音氏(千葉) U1: 廣瀬俊昭氏(神奈川)		
ミーティング内容		主任 岸 由貴氏(群馬)・野口祐子氏(千葉)		
<p>3人で危ないと思うところが共通し、ローテーションなどもスムーズに行えた。私が判定したセンターでのオフエンスファウル、決断できたのは良かったが、ケースとしては難しく、ノーコールという決断またはリードに預けることもできたかもしれないとのことだった。</p>				
全体の感想				
<p>一昨年、昨年に引き続いて関東中学に派遣をしていただきました。 U15特有の難しさをここ数年感じています。レベルが以前と比べると格段に上がりながらも、吹いてもやめてくれない、吹いてもリアクションがなく間違ったフェエでも受け入れられてしまうなど、こちらもさらなる成長の必要を感じています。 埼玉県バスケットボール協会の皆さまには派遣に指名していただき、改めて御礼申し上げます。また大会期間中は千葉県バスケットボール協会の皆さまに大変お世話になりました。この場をお借りして、御礼申し上げます。</p>				